

教科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2単位	学年(コース)	2年次
使用教科書	帝国書院 『高等学校 新地理総合』 帝国書院 『新詳高等地図』				
副教材等	とうほう『新編フォトグラフィア地理図説』、帝国書院『高等学校 新地理総合ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①本校の特色及び取組を生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善により基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進します。</p> <p>②規律ある学校生活の中で基本的な生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図ります。</p> <p>③生徒一人一人の良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図ります。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>総合学科の本校では多様な科目開設という特徴を生かした教育活動を展開し、「産業社会と人間」を基本として3年間を見通したキャリア教育を充実させます。また、地域と連携した実習や就労体験等、地域の教育資源を活用して教養、人間性及び社会性を育てます。</p> <p>①多様な進路希望に対応する選択科目を設け、資質、能力の育成に相乗的であるように教科等横断的な視点に立った指導であること。</p> <p>②学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。</p> <p>③ICTの活用も含め、生徒個々が自身の進路希望を意識した学習態度の早期醸成と高揚につなげられるものであること。</p> <p>④学校設定科目「キャリア実習」をはじめ、科目の設定にあたり地域産業、地域の人材を生かした授業展開ができること。</p>

2 学習目標

社会的な見方、考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理や歴史に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

- ① 社会的な事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり、解決したりする活動を通して社会の有為な形成者となる資質・能力を身に付けさせる。
- ② 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を身に付けさせる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識：地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するようにしている。 技能：調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにしている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論しやりする力を養うようにしている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論しやりする力を養うようにしている。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ ・小テストの分析、 ・定期考査の分析 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・授業中の発言、作業への取組などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・プレゼンテーションや発表、討論への取組、また授業中の発言の観察などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・プレゼンテーションや発表、討論への取組、また授業中の発言の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・授業中の発言、作業への取組などから、総合的に評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	地図と地理情報システム ・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	4	・緯度の違いや時刻の違い(時差)が、私たちの生活にどのような影響を与えているか理解する。 ・様々な図法とその役割、統計地図の種類と使い分け、GISがどのように活用されているか理解する。	a c a b	発言等の様子(行動の確認) 授業ノート・ワークシート(記述の確認)
4 5	結びつきを深める現代社会 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	4	・国家の領域・国境などに関するきまりや特徴について理解する。 ・世界の国々の結びつきの歴史や特徴・課題について理解させる。	a b b c	授業ノート・ワークシート(記述の点検) 発言等の様子(行動の確認)
5	生活文化の多様性と国際理解 ・世界の地形と人々の生活	5	・大地形、変動帯の地形、安定地域の地形と人々の生活との関係性について理解する。 ・河川や海岸、氷河などがつくる地形が人々の生活にどのような影響を与えているか理解する。	a b b c	授業ノート・ワークシート(記述の点検) 発言等の様子(行動の確認) ※第1回定期考査
6	・世界の気候と人々の生活	5	・気温や降水・風などが人々の生活にどのような影響を与えているか理解する。 ・世界の植生が気候とどのように関わり合っているのか理解する。 ・さまざまな気候の違いによる植生や人々の生活について理解する。	a b a b b c	発言等の様子(行動の点検) 授業ノート・ワークシート(記述の確認) 小テスト(記述の分析)

6 7	※乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 ※モンスーンの影響を受ける地域での生活	3	・多様な自然環境が人々の暮らしにどのような影響を与えているのか、具体的な地域を参考に理解する。	a b b c	授業ノト・ワークシート (記述の点検) 発言等の様子 (行動の確認)
7	・世界の言語・宗教と人々の生活 *イスラームと人々の生活の関わり *ヒンドゥー教と人々の生活の関わり	4	・言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているか理解する。 ・イスラームとヒンドゥー教を例として、自然環境と宗教の関連性や独自の生活文化について理解する。	b c b c	授業ノト・ワークシート (記述の点検) 発言等の様子 (行動の確認) ※第2回定期考査
7 8	・歴史的背景と人々の生活 *移民の歴史と人々の生活の関わり *植民地支配の歴史と人々の生活の関わり *国家体制の変化と人々の生活の関わり	4	・さまざまな歴史的背景が人々の生活にどのような影響を与えてきたか理解する。 ・ラテンアメリカ、サハラ以南アフリカを例に移民の歴史や植民地の歴史と人々の生活との関わりについて理解する。 ・ロシアを例に国家体制の変化と人々の生活との関わりについて理解する。	a b b c b c	授業ノト・ワークシート (記述の点検) 発言等の様子 (行動の確認) レポート・ワークシート (記述の点検)
9	・世界の産業と人々の生活 *産業力が世界の生活文化に与える影響 *経済成長による人々の生活の変化 *地域統合が人々の生活や産業に与える影響	6	・産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えているのか理解する。 ・産業のグローバル化が人々の生活にどのような影響を与えているのか理解する。 ・地域の違いによる産業が人々の生活の変化にどのように影響したのか理解する。	a b b c b c	授業ノト・ワークシート (記述の点検) 発言・協議等の様子 (行動の確認) 発言・協議等の様子 *第3回定期考査
9 10	地球的課題と国際協力 ・複雑に絡み合う地球的課題 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題	6	・地球的課題の解決に向けて、どのような取り組みが行なわれているのか理解する。 ・地球環境問題の種類とその原因と課題や対策について理解する。 ・エネルギー資源の利用や課題について理解する。	b c b c a b	発言等の様子 (行動の確認) 発言等の様子 (行動の確認) 授業ノト・ワークシート (記述の点検) 小テスト(記述の分析)
10 11 12	・人口問題 ・食糧問題 ・都市・居住問題	1 2	・世界の人口分布や増減について、その原因と課題について理解する。 ・飢餓と飽食について、発生のメカニズムと問題の本質や解消への取組について理解する。 ・世界の都市の発達や大都市の分布について理解する。 ・都市のかかえる問題について、地域における違いや取り組みについて理解する。	a c b c a c	レポート・授業ノト・ワークシート (記述の点検) 小テスト(記述の分析) 発言等の様子 (行動の確認) 第4回定期考査

12	自然環境と防災 ・日本の自然環境 ・地震・津波と防災	5	<ul style="list-style-type: none"> 世界や日本の各地で発生する自然災害について、地形や気候と結びつけて理解する。 日本の地形やその形成過程、気候について地域差はどのように生じているのか理解する。 地震、津波によって発生する被害や対策について理解する。 	a c b c b c	レポート、授業ノット・ワークシート (記述の点検) 発言・協議等の様子 (行動の確認) 発言・協議等の様子 (行動の確認) 小テスト(記述の分析)
12 1	<ul style="list-style-type: none"> 火山活動と防災 気象災害と防災 	6	<ul style="list-style-type: none"> 火山活動によってもたらされる恵みや災害について理解する。 気象災害の地域による違いや、防災のための取組、またその取組に対する課題について理解する。 	a c b c	レポート、授業プリント (記述の点検) 発言・協議等の様子 (行動の確認)
1 2	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害へのそなえ 生活圏の調査と地域の展望 生活圏の調査と地域の展望 	6	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害の被害を減らすための取組や、被災地への必要な支援について理解する。 生活圏の地理的な課題を探究するために、どのような調査が必要か理解する。 事前調査や調査計画の作成はどのように行なえば良いか理解する。 調査を効果的に行なうために必要な事柄や、発表する際に必要な工夫について理解する。 	a c b c b c b c	発言・協議等の様子 (行動の確認) レポート・ワークシート (記述の点検) 発言・協議等の様子 (行動の確認) 小テスト(記述の分析) *第5回定期考査

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・授業の内容に応じて、ワークシートや課題に取り組みます。
- ・各単元のまとめとして、確認ワークシート等に取り組み、提出することになります。
- ・授業内容に応じて、ワークシートやレポートを作成し提出することになります。
- ・授業内容に応じて、作成したレポートやワークシートを使って、ディスカッションやプレゼンテーションを行ないます。その際に互いの評価表等を作成し、提出することになります。

8 担当者からの一言

「地理総合」は、地理的な観点を学ぶだけではなく、歴史・政治・経済・宗教・文化などあらゆる社会的な分野の理解のために必須な知識となります。この科目の学習を通じて歴史的な課題や地球規模の課題に興味を持ち、その課題を解決するためには、どのようにしたら良いのか自分なりの考えや意見をもつことができるようになると良いと思います。